

### 環境都市分科会

#### 秦野名水利活用事業費について

**問** 名水に対する保全意識の醸成を図り、次世代や市内外への普及促進を目的として「秦野名水名人講」を設立したが、会員の人材育成や活動についての取り組みはどのようなか。

**答** 発足以来実施してきた、ワークショップや会員同士のモニターツアー



秦野名水さんぽの様子

ーに加え、ステップアップ講座による会員のレベルアップを図るとともに、「秦野名水さんぽ」などの啓発事業を中心とした活動を考えている。

#### 田原ふるさと公園管理運営費について

**問** <sup>はんおくがい</sup>半屋外の販売休憩施設の整備は利用者アンケートの結果や、運営団体、地域住民を交えたワークショップにおける意見を踏まえたものというところであるが、今後の展開はどのようなか。

**答** 新型コロナウイルスの影響により来訪者は減少傾向にあるが、施設の強みである地場産農産物の直売や良好な自然環境などを生かした整備を行い、公園の魅力を上向きさせ、集客の増加を図る。

**答** 新型コロナウイルスの影響により来訪者は減少傾向にあるが、施設の強みである地場産農産物の直売や良好な自然環境などを生かした整備を行い、公園の魅力を上向きさせ、集客の増加を図る。

**要望** <sup>みなもとのさわともこうみしるしづか</sup>源実朝公御首塚をはじめ、周辺の文化財などの地域資源を生かし

ながら、大河ドラマの放映を契機と捉え、来訪者の呼び込みに向けて、庁内で横断的に取り組んでほしい。

#### 商業デジタル化推進事業費について

**問** 地域経済対策を目的として電子地域通貨の導入を検討することだが、本事業の経済活動以外における活用についての考えはどのようなか。

**答** 先進自治体では地域コミュニティ活動への参加促進や健康増進に向けた取り組みなどを実施している。これらを参考にしながら、地域課題の解決に寄与するものを導入できるよう検討したい。

**答** 先進自治体では地域コミュニティ活動への参加促進や健康増進に向けた取り組みなどを実施している。これらを参考にしながら、地域課題の解決に寄与するものを導入できるよう検討したい。

**要望** 導入に当たっては、事業に対する理解が得られ、積極的な活用が図られるよう、事業者や商店会と連携を取りながら制度の周知を行い、市内商業の活性化につなげてほしい。

#### 移住定住促進事業費について

**問** 市内で新たに住宅を購入する若者世帯などへ、その費用の一部を助成することだが、移住・定住につなげるための情報提供や、移住希望者からの相談に対する取り組みはどのようなか。

**答** 制度の周知に当たり「移住・定住ガイドブック」を作成し、市内外へPRしたい。また、自然に恵まれた住環境への関心から相談件数は増えており、今後、移住・定住に関するワンストップ相談体制を整える。

**答** 制度の周知に当たり「移住・定住ガイドブック」を作成し、市内外へPRしたい。また、自然に恵まれた住環境への関心から相談件数は増えており、今後、移住・定住に関するワンストップ相談体制を整える。



移住お試し住宅

### 討 論

#### ▶本会議での反対討論

滞納者の生命保険を差し押さえていること、組織のスリム化が委託業務の増加を招いていること、※量出制入による予算計上がされていないことなどから、反対する。

#### ▶本会議での賛成討論

新たな任期に当たっての目標となる、秦野みらいづくりプロジェクトを具体化させるための令和4年度予算において、臨時財政対策債や財政調整基金の取り崩しを大幅に抑制するなど、過去最大の予算額の中でもプライマリーバランスを黒字としたことを評価する。

施政方針において表明した全国屈指の森林観光都市を目指すためには、市が明確なビジョンを示し市民と共有する必要がある。次世代交通システムへの支援も含め、取り組みを進めてほしい。

また、経済活動の両立を目指す電子地域通貨の導入においては、分かりやすい制度設計に努めるなど、ポストコロナの新しい潮流に市民が取り残されないよう十分に配慮してほしい。加えて、暮らしの拠点が地方へ分散する動きが顕著となる中、新東名高速道路の開通は大きな追い風となるため、その効果を市域全体に広げることが期待している。

#### ▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)・本会議 原案可決(賛成多数)

### 議会の動向

- 2月
  - 16日(水)・代表者会議・議員連絡会・総務常任委員会・文教福祉常任委員会・環境都市常任委員会
  - 17日(木)・議案送付
  - 21日(月)・議会運営委員会
  - 24日(木)・市議会第1回定例会開会
- 3月
  - 1日(火)・本会議(代表質問)
  - 2日(水)・本会議(代表質問)
  - 3日(木)・本会議(議案審議)・代表者会議・議会運営委員会
  - 4日(金)・予算決算常任委員会(令和4年度予算・総務分科会)
  - 7日(月)・予算決算常任委員会(令和4年度予算・文教福祉分科会)
  - 8日(火)・予算決算常任委員会(令和4年度予算・環境都市分科会)
  - 10日(木)・総務常任委員会・予算決算常任委員会(補正予算・総務分科会)
  - 11日(金)・文教福祉常任委員会・予算決算常任委員会(補正予算・文教福祉分科会)
  - 14日(月)・代表者会議・環境都市常任委員会・予算決算常任委員会(補正予算・環境都市分科会)
  - 16日(水)・議会運営委員会・本会議(議案審議・一般質問)・議会報告会検討会
  - 22日(火)・本会議(一般質問)・追加議案送付
  - 23日(水)・本会議(一般質問)・代表者会議
  - 25日(金)・議会運営委員会・予算決算常任委員会・市議会第1回定例会閉会・議会運営委員会・議会報編集委員会
  - 28日(月)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第1回定例会
  - 29日(火)・代表者会議
- 4月
  - 15日(金)・代表者会議・議員連絡会・総務常任委員会・文教福祉常任委員会・環境都市常任委員会
  - 22日(金)・代表者会議
  - 28日(木)・代表者会議
- 5月
  - 9日(月)・代表者会議
  - 16日(月)・代表者会議・議員連絡会・総務常任委員会・文教福祉常任委員会・環境都市常任委員会・議会報編集委員会

### 水道事業会計

#### たな卸資産減耗費について

**問** 物品の在庫を確認する棚卸しにより生じる不用品の処分に係る経費について、令和4年度は3年度と比べ、3千万円を超える大幅な増額となったが、その要因と市会計への影響はどのようなか。

**答** 棚卸し自体は、例年実施している事務処理であるが、その内容が不十分であったことから、年月の積み重ねにより金額の差異が生じたものと考えられる。その差異を修正するために予算計上したものであるが、水道事業会計における金銭的な実害は発生していないと考えている。

**答** 棚卸し自体は、例年実施している事務処理であるが、その内容が不十分であったことから、年月の積み重ねにより金額の差異が生じたものと考えられる。その差異を修正するために予算計上したものであるが、水道事業会計における金銭的な実害は発生していないと考えている。

#### ▶本会議での反対討論

水道料金が未納となっている世帯への給水を停止していることなどから、反対する。

#### ▶本会議での賛成討論

ゼロカーボンシティの実現に向け、自前での発電を検討することを要望し、賛成する。

#### ▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)

### 公共下水道事業会計

#### 処理場管理事業費について

**要望** ※B-DASH事業による汚泥の乾燥機については、平成30年度より国から無償で借り受け、実用段階での検証を行いながら稼働しているが、多くの電力を消費しているため、一般の電力需要が下がる夜間の運転を検討してほしい。

#### ▶本会議での反対討論

下水道使用料に逆累進性のある消費税を課税していることなどから、反対する。

#### ▶本会議での賛成討論

総務省の基準に基づかない基準外繰入金金を早期に解消することなどを要望し賛成する。

#### ▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)



B-DASH事業により設置された汚泥乾燥機

### 国民健康保険事業特別会計

#### 一日人間ドック事業費について

**問** 人間ドックは自身の健康状態を把握するとともに、病気の早期発見や治療により、医療費全体の適正化につながるものと考えているが、令和4年度受検者数の見込みはどうか。

**答** 被保険者数は減少しているが、人間ドックの受検者は3年度と同様の人数を見込み、予算計上している。健康診断を受けることで、医療費負担が軽減したとの実績もあるため、引き続き受検を促したい。

**答** 被保険者数は減少しているが、人間ドックの受検者は3年度と同様の人数を見込み、予算計上している。健康診断を受けることで、医療費負担が軽減したとの実績もあるため、引き続き受検を促したい。

#### ▶本会議での反対討論

困窮者の実態を調査し、資格証明書の発行をやめるべきであることなどから反対する。

#### ▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)

### 後期高齢者医療事業特別会計

#### ▶本会議での反対討論

年齢差別と負担増の現行制度を廃止し老人保健制度に戻すべきであるため、反対する。

#### ▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)



#### ▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)

額となった理由はどのようなか。

**答** 令和4年度は、医療・介護関係者を対象とした研修のほか、専門職からの相談に対応する支援業務を充実するために必要な委託料を計上したことから、増額となった。

#### ▶本会議での反対討論

保険料の滞納者に対し、本人負担率を引き上げていることなどから、反対する。

### 介護保険事業特別会計

#### 在宅医療・介護連携推進事業費について

**問** 在宅医療と介護を一体的に提供するため、地域医療と介護の関係機関における連携体制の構築を推進するための事業とのことだが、予算が増

#### 用語解説

※量出制入…「出るを量って入るを制す」ことで、歳出を決めてから歳入を決めることを指す。  
※B-DASH事業…下水道事業における大幅なコスト削減や再生可能エネルギー創出等を実現するための下水道革新的技術実証事業のこと。